

1から学ぶ中学受験算数～第72回つるかめ算の応用③（仕事算のつるかめ算）

氏名：

解答・解説

例題 Aさんが1人ですると9日、Bさんが1人ですると15日かかる仕事があります。  
この仕事を、はじめAさんが1人で何日かして、その後、Bさんが1人でしたら、  
全部で11日かかりました。このとき、Bさんが働いた日数は何日ですか。

全体の仕事を  $\textcircled{45}$  とする。

$9$  と  $15$  の  
最小公倍数

Aは  $\textcircled{45} \div 9\text{日} = \textcircled{5}/\text{日}$  する。

Bは  $\textcircled{45} \div 15\text{日} = \textcircled{3}/\text{日}$  する。

2種類の  
合計が分かっている!!

全体の仕事は  $\textcircled{45}$ ，合計の日数は 11日。

つるかめ算で解く！

① 11日すべてAさんが働いたとすると

$$\textcircled{5}/\text{日} \times 11\text{日} = \textcircled{55}$$

② 本当との差は

$$\textcircled{55} - \textcircled{45} = \textcircled{10} \text{ へらさないとイケない。}$$

③ 1日だけAさんをBさんに交換すると

$$\textcircled{5} - \textcircled{3} = \textcircled{2} \text{ へら。}$$

$$\textcircled{4} \quad \textcircled{10} \div \textcircled{2} = \underline{\underline{5\text{日}} \text{ (Bさんの日数)}}$$